

東日本復興CM方式のとりまとめ ～今後の活用に向けて～(構成イメージ)

平成29年1月16日

国土交通省 土地・建設産業局 建設業課
入札制度企画指導室

東日本復興CM方式の評価と検証(構成イメージ)

目次	概要	参照資料
はじめに	復興CM研究会の設置趣旨について説明	第1回【資料1】
1. 東日本大震災の概要		
1.1 東日本大震災の特徴	他の災害に比べた震災の特徴(震度・被害エリア等)	第1回【資料1】
1.2 被害状況	東日本大震災による被害(人的・物的)状況等	
2. 復興事業を取り巻く環境及び発注者のニーズ		
2.1 復興事業を取り巻く環境	復興事業を進める上で地方公共団体が直面した課題(急激な事業量の増大等)	第2回【資料1】
2.2 発注者ニーズ	復興事業における発注者ニーズ(スケジュール短縮、発注者体制の補完、コスト縮減等)	第2回【資料4】
3. 「復興CM方式」の導入に向けた取組		
3.1 「復興CM方式」の導入背景	「復興CM方式」を導入した背景・理由(総価請負方式を適用しなかった理由等)	第1回【資料3】
3.2 導入に向けた検討	「復興CM方式」の導入に向けてURが実施した検討内容(現行制度との整理)	第1回【資料3】
3.3 復興市街地整備事業の各地区概要	「復興CM方式」を導入した19地区の事業概要(規模、整備内容等)	第1回【資料2】
4. 課題解決に向けた「復興CM方式」の活用ツール		
4.1 「復興CM方式」の概要	「復興CM方式」の全体の枠組み(制度概要)	第1回【資料3】 第3回【資料2】
4.2 「復興CM方式」の活用ツール	各活用ツール(マネジメント、コストプラスフィー等)の内容	第2回【資料5】 第3回【資料2】
5. 「復興CM方式」の評価の視点		
5.1 評価の視点(ポイント)	「復興CM方式」を評価の4つの視点(ポイント)	第2回【資料6】
6. 「復興CM方式」の効果・課題、評価		
6.1 各地区における具体的な効果事例	19地区の中から代表的な地区(4地区程度)を抽出し、取組・効果等	第2回【資料5】
6.2 「復興CM方式」の評価	各委員からの意見や実例を踏まえ、各ニーズに対する各ツールの導入効果・課題等について評価	第3回【資料4】
7. 今後の活用に向けて	各ツールの中から他の事業に適用可能な要素(ツール等)を抽出し、活用に向けた留意点等を取りまとめ	第3回【資料5】
参考資料：各実務ツール	各実務ツールの実物(協定書等)を添付(概要について説明)	